

・総務部

平成15年度は、役員改選の年であった。平成15年3月23日(日)京王プラザホテルで開催された第55回通常総会において、会長には、坂元正一氏が満場一致で再選され、また、副会長には、新家薫氏(再任)清川尚氏(新任、前常務理事)及び佐々木繁氏(新任、前常務理事)が、監事には、高橋克幸氏(前副会長)及び寺尾俊彦氏(前常務理事)がそれぞれ選出された。会員外からの監事には、平岩敬一弁護士が再任された。

理事には、ブロック選出理事25名及び会長推薦理事11名が選任され、この中から、14名の常務理事が互選された。同時に、顧問の委嘱手続きに次いで、会長からの幹事委嘱も発表された。

常務理事の業務分担も行われ、平成15・16年度任期の第8次坂元体制が発足した。

新執行部の下で、平成15年度の事業の推進に当たっても、前年度に引き続き、本会の財政収支の中期的な見通しに立った厳しい節減方針が堅持され、効率的、効果的な実施が求められた。その特徴的なものとして、一つは、支部長会と全国支部総務担当者連絡会の一本化による本部負担の経費削減である。これは、出席人員は2名を可能とするが、出席旅費は1名に限ることとし、会議内容の重複伝達を避けつつ、会議内容の支部末端までの徹底を図り、本部、支部相互間の連携を一層効果あるものにするものである。

二つ目は、日産婦学会との事業の連携、分担による経費削減効果への期待である。日産婦学会・医会連絡会ワーキンググループの成果として、平成15年1月から開始した日産婦学会誌・日産婦医会報の共同発送に伴う経費の削減効果は、当初の予想を2倍近く上回る、約900万円の節減効果を生んだ。これを契機に、文書通信費を一層節減するため、可能な限り共同発送を徹底した。また、会内のファックス通信網をより経費的に効率のよい送信システムに切り替えるなどファックス通信を徹底することとした。平成16年度の問題として、本会の総会に出席する代議員の旅費の支給問題が討議され、支部の負担とすることで平成16年度の収支予算案に盛り込まれたが、第57回通常総会の審議において、理事会での継続検討要請の付帯事項が付いた。

以上のほか、平成15年度事業報告の特筆すべき事項として、(1)日産婦学会・医会の連携強化の一環として開始された日産婦学会・医会共同開催の公開講座に対する助成事業について、初めて16支部に対して助成を行ったこと。(2)医療過誤を繰り返すリピーター対策として医療事故・過誤防止事業と報告モデルがまとめられたこと。(3)シンポジウム「安全な妊娠・出産をめざして～良い産院の10か条～」に関するメディファックスの記事や朝日新聞の「健診は医院で、出産は大病院」との誤解を招くような報道があり、この報道の内容は、一方で有床診療所における48時間規制撤廃要求問題等とも絡み、会員間で憶測による情報が錯綜したが、厚生労働省担当局と鋭意、調整、折衝を重ねるなど会員間での情報錯綜に対応した。(4)各紙の報道で明らかになった日産婦学会会告違反の「無申請着床前診断」の実施に関し、会員倫理委員会が開催され、今後の対応について協議されたこと等、平成15年度は本会にとって、迅速な対応を求められるかなり大きな問題が頻発し、機動的な政策決定が求められた。

A. 庶務

1. 会議

通常総会、理事会、常務理事会、幹事会、支部長会、会員倫理委員会、日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会連絡会ワーキンググループ、ブロック代表者会議等総務部関係会議を開催した。(27頁参照)

2. 組織強化の推進

組織の強化は、本会事業推進のため重要であり、次の事業を行った。

(1) 組織強化

本部・支部間の連絡を密にし、円滑化に努めた。

(2) 月例連絡・月例報告の充実

本部、支部間の緊密な連携を保つため、毎月1日、本部より支部へ月例連絡事項を送り、毎月15日までに前月分の支部状況を受け、毎月の常務理事会で内容を検討のうえ支部への対応に努めた。

(3) ブロック協議会、支部総会、支部研修会への協力・支援

ブロック協議会、支部総会、支部研修会に関し、各ブロック、支部と緊密な連携を図り、運営に協力した。

ブロック協議会は、別記のとおり9ブロックで開催し、ブロック・支部間の連絡、連携を密にし、本部との意思の疎通を図ることにより、組織の充実強化に努めた。(49頁参照)

ブロック協議会には、本部より、役員の派遣と開催費補助(年間1ブロック50万円)を行った。

支部の研修会については、支部の要請により講師を派遣するなど、会員の生涯研修に関し、充実した内容の実施に努めた。また、例年にならい「支部内の研修会実施報告書」、「出席者名簿」の提出などにより、支部内の組織的活動状況の把握に努めるとともに、研修会補助(年間1支部5万円)を行った。研修会開催は別記(15頁参照)のとおり報告があった。

(4) 公開講座に対する支援

医会支部が学会の各都道府県地方部会と共同で開催する一般市民向けの公開講座に対し助成するもので、平成15年度は16支部に助成を行った。

(5) 本会への入会促進

日本産科婦人科学会総会・学術講演会や日本産科婦人科医会学術集会の開催時に「医会広報コーナー」を設け、入会パンフレットの他、研修ノート等、当会の刊行物を展示し、新規会員の入会の促進に努めた。

3. その他の重要事項

(1) 全国産婦人科教授との連携

本会の活動について大学教授の理解を得るとともに、在局者の本会への入会を促進するため、全国医育機関の教授との懇談会を次のとおり開催した。

第29回全国産婦人科教授との懇談会

平成15年4月13日 福岡市

出席者 138名

懇談・報告

1. 新役員紹介
2. 日本産科婦人科医会入会の勧めについて
3. おぎゃー献金について

日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会ワーキンググループ

最終答申並びに活動報告

日本産科婦人科学会

落合 和徳、武谷 雄二、澤 倫太郎、星 和彦、吉田 幸洋

日本産婦人科医会

清川 尚、川端 正清、亀井 清、田中 政信、宮崎亮一郎

はじめに

日本産科婦人科学会（以下、学会）と日本産婦人科医会（以下、医会）は、現在の産婦人科医療を取り巻く社会情勢に鑑み、共に協力し、業務の連携と分担による一層の活動強化を図る必要があるとの共通認識に立ち、平成13年9月、日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会ワーキンググループ（以下、学会・医会WG）を立ち上げた。

本組織は、従来からある「学会・医会連絡会」と「学会・医会生涯研修連絡協議会」を包括したものであり、両会の抱える直近の問題ならびに中・長期的な問題に対して討議・答申を行うという立場から、両会の機能連携のあり方とその具体的実施策につき提言するものである。

本年度は、平成14年度、学会・医会WGが提言しそれに沿って実施されている業務の進捗状況について、その実態を調査した。さらに今後の両会の連携・業務分担について、合計5回の会議を行い、この間の討議によって得られた結論を以下に答申する。

1. 刊行事業の連携・分担

学会と医会には両会に所属する共通会員が多いことから、会員に対して両会の協力関係を具体的な内容で示すことが、今後の両会の一層の連携を強化することに繋がるものである。これまで実施したこととして、経費削減を含めた事務の効率化の面から、両会がおのの刊行している「日本産科婦人科学会雑誌」と「日本産婦人科医会報」の共同発送を開始した。

刊行物の共同発送については、平成15年11月末現在、予想を大幅に上回り、学会側が約600万円、医会側が約1,000万円と両会合わせて約1,600万円の経費削減効果が見込まれる予定となった。医会側の削減効果が高いのは、従来使用していたビニールパッケージのコスト削減率が高かったことによる。

一方、共同発送に伴うデメリットに関しては、当初遅配に関するクレームが非公式に伝えられたことはあったものの、その後は会員からの公式のクレームはない。

以上の結果を踏まえ、学会・医会WGとしては、次年度以降も、共同発送を継続することを両会の理事会に提案するとともに、本年度の経費削減効果を次年度予算策定に反映させることとした。

2. 各委員会の連携

(1) 倫理委員会の連携・分担

前年度の答申案を受け平成15年度より、学会側が日本産科婦人科学会倫理委員会及び倫理審議会、医会側は会員倫理委員会として設置するところとなった。

日本産科婦人科学会倫理委員会は、生命倫理等の医学的倫理問題を扱う委員会として位置付け、1) 生殖医療部会内に 登録・調査小委員会、 遺伝カウンセリング小委員会、 着床前診断に関する調査小委員会、 2) 周産期医療部会、 3) 腫瘍医療部会、その他に関連学会委員会を設置した。一方、医会の会員倫理委員会は、会員倫理の向上に関する指導等を重視することとしたものである。

本年度は両会がこのシステムを開始した状態であるが、現状ではトラブルはないものと思われる。しかし、今後その評価をしていく必要があるものとする。その評価方法等に関しては今後の検討課題とする。

(2) 社保事業の連携・分担

学会側には社会保険学術委員会があり、医会側には社会保険委員会がある。前年度の答申を受けて、平成15年度より、学会側は委員会の構成員を変更し、学術的な検証を行うことその他に、社会が学会側に意見を求める方向にあるため、外保連、内保連への窓口、行政への窓口としての機能に特化し、医会側は会員への社保の適正な運用等の指導の他に、会員からの要望を受信し、また、日本医師会への要望を発信する窓口としての機能を担うことになった。

本年度は両会がこのシステムを開始した状態であり、今後その評価を行う必要があるものとする。その評価方法等に関して次年度以降継続的に検討する。

3. 医事紛争業務の連携

平成13年7月、政府の司法制度改革により、最高裁判所内に鑑定人の迅速な選定を目的とする「医事関係訴訟委員会」が設置され、鑑定人推薦の窓口として、医事関連各学会を指定することになり、日本産科婦人科学会にもその協力要請があり、前年度学会・医会WGが窓口になり180余名の候補者からなる「鑑定人候補者リスト」を作成した。

本年度は学会の運営企画委員会の中に両会の会員からなる「鑑定人推薦委員会」を設置し、「医事関係訴訟委員会」への推薦の実務を行うことになった。なお、「鑑定人推薦委員会」は鑑定人の推薦は行うものの、その鑑定人が行った鑑定の内容については関与するものではないことを内規に明記した。

本年度はさらに、大学講師・助教授にも枠を拡大した「鑑定人候補者リスト」を作成し、日本産科婦人科学会鑑定人推薦委員会へ提出した。その結果、候補者の総数は257名となった。

第1回日本産科婦人科学会鑑定人推薦委員会は平成15年12月5日開催され、東京三弁護士会シンポジウムについての報告、鑑定人候補者リスト作成の進捗状況について報告がなされた。

また、最高裁からの鑑定人推薦依頼は、平成14年5月28日から平成15年11月18日までに12件あり、本委員会から10人の候補者を推薦した。

今後は医事紛争事例に関し情報収集と分析を行えるようなシステムを構築していくことについても検討の必要があることが確認された。

4. 学術集会について

学会側は第56回日本産科婦人科学会総会ならびに学術講演会の生涯研修プログラムにおいて「日本産科婦人科医会・研修ノートレビュー」を開催することになった。また、医会側は医会学術集会時に学会の各専門委員会報告を大会会場内に掲示するなど、両会が協調して会員に対して情報提供していく状況が確立されつつある。

前年度提言した「相互に連携して協調的に行うこと」に関しては、着実に進んでいるが、学会側

は、学術集会会場の固定化、開催期間について今後検討がなされる予定であり、医会側は、開催ブロックの変更、開催内容の依頼等について検討がなされる予定である。

5. 卒後・生涯研修活動について

学会の「研修コーナー」と医会の「研修ノート」に関しては、前者が産婦人科専門医取得に向けての卒後研修のためのテキストであり、後者は生涯研修のためのテキストとして取り扱われてきた。次年度、学会側は「研修コーナー」を製本化する予定であり、医会側は「婦人科における院内感染とリスクマネジメント」と「不正性器出血」を刊行する予定である。

今後、両会の研修活動のあり方に関しては、専門医の位置付けを中心に考えることが重要で、中でも「社会が要求している専門医」との整合性を協議・検討する必要がある。また、専門医未取得者の研修方法、高齢会員に対する更新に要する研修記録の提出免除制度を廃止した後の、新専門医制度下での研修方法、医療過誤医師に対する研修のあり方・システム作り等についても協議する必要がある。さらに、この問題と専門医制度との関わりも明確にする必要がある。

これらの問題に関しては、両会からなる学会専門医制度委員会内で十分検討されるものと考えられるが、学会・医会WGからもこれらの項目に関して提案していくことが確認された。

今後、卒後・生涯研修活動は両会会員にとって最も重要な事項になるものと思われる。次年度以降も「卒後・生涯研修活動について」を、本WGの最重要検討事項として継続協議することとする。

B. 対外広報・渉外

1. 対外広報活動

医会の対外広報活動としては、対一般、マスコミ向け情報源として「医療事故・過誤多発施設・医師への対応」を行った。また、会員向けには各ブロック協議会、支部主催の会議等へ役員を派遣し、医会の考え方に関して示した。また「全国産婦人科教授との懇談会」を通じて医育機関に対しても医会の考え方、活動状況について説明を行った。さらに、医会のホームページを利用して、一般ならびに会員へ向けて以下の情報を提供している。

【ホームページ掲載事項】

< 医会からのお知らせ >

- 2003.07 妊婦と水銀
- 2003.07 特定生物由来製品
- 2003.12 妊婦のインフルエンザ予防接種
- 2003.12 新生児聴覚スクリーニング
- 2003.12 風疹予防接種の重要性
- 2004.02 医療事故・過誤多発施設・医師への対応に関する支部通達
- 2004.03 風疹流行の兆しか（群馬県支部より）

< 医会のこと >

- 定款
- 定款細則
- 規程

役員一覧
社員名簿
委員会
名誉会員
都道府県支部
事務局業務分担

< 情報館 >

遺伝相談施設
不妊治療
不妊相談センター
低容量経口避妊薬
母子健康管理
小規模事業所の母性健康管理に関する相談
母性健康管理指導事項連絡カード
ホルモン補充療法

< 事業内容 >

事業計画
事業報告
常務理事会報告事項

- ・ 総務部
プレグランディン腔坐剤の報告書記入および運用要領
母体保護法の説明文
日本産婦人科医会学術集会
- ・ 経理部
平成14年度計算書類
- ・ 学術研修
研修ノート一覧
研修ニュース一覧
会員研修テーマ
- ・ 医療安全・紛争対策
これからの産婦人科医療事故防止のために一覧
医療事故・過誤多発施設・医師への対応に関する支部通達文書（理事会案）
- ・ 医療対策部
日産婦医会報より「医療と医業」
開業者急逝後に必要な届出・手続き
母と子の経過報告書
廃棄物処理法

HBs抗原陽性の患者さんのために
HBs抗原陽性の患者さんのために（その2）

- ・ 広報部
日本産婦人科医会報目次
日本産婦人科医会報「学術欄」インデックス
日本産婦人科医会報「特集」インデックス
- ・ 女性保健部
日本産婦人科医会性教育指導セミナー
- ・ 母子保健部
妊婦のインフルエンザ予防接種
新生児聴覚スクリーニングにおけるfalse negativeについて
風疹予防接種の重要性
- ・ 先天異常部
飲酒、喫煙と先天異常
葉酸摂取による胎児異常発生予防
妊婦等における水銀を含有する魚介類の摂取に関する注意事項
- ・ 情報システム部
情報システム委員会答申
情報システム委員会報告
「各支部のシステム現状調査」結果
- ・ 献金担当連絡室
おぎゃー献金基金ホームページ

< 会員各位 >

支部からのお知らせ
短波放送 55項目
メーリングリスト
ウィルスのはなし

2. 渉外

政府に対する予算要望【別記1】、与党に対する税制改正要望【別記2】を行ったほか、助産師問題、有床診療所問題等に関しても、国や日本医師会等と密接な協議を行う等精力的な活動を展開した。

厚生労働省

雇用均等・児童家庭局長

岩田喜美枝 殿

社団法人 日本産婦人科医会
会長 坂元正一

平成16年度予算概算要求に関する要望について

母子保健関連事業の推進に関しては種々ご配慮戴き感謝申し上げます。

さて、本会は、母子保健の一層の進展のため平成16年度予算概算要求に当たり、次の事項を要望いたしますので、その実現方をよろしくお願いいたします。

記

1. 「健やか親子21 10ヵ年計画」の実施に伴い、次の3項目は母子保健事業の根幹をなすものであることから、是非とも積極的な予算要求をお願いする。
総合周産期母子医療センターの充実並びに運営費の補助基準額の増額
周産期医療ネットワークの整備並びに小児救急医療支援体制の充実
不妊治療に対する国庫補助の新設
不妊専門相談センターのより一層の増設
2. 出産環境の改善策として、出産育児一時金を50万円に増額する等、母子保健行政における総合的な「少子化」対策のより一層の推進をお願いする。
3. 産婦人科医・小児科医地域連携事業（プレネイタル・ビジット）のさらなる充実、支援をお願いする。
4. 「ドメスティック・バイオレンス、チャイルド・アブユース」に対する防止対策や制度の積極的な推進、指導をお願いする。
5. 「子育て家庭への支援等」については、子育て中の母親が安心して勤労が可能となるよう駅前保育所・夜間保育所の整備、放課後児童の受け入れ体制等の充実をお願いする。
6. 新生児聴覚スクリーニング検査の公費負担事業の本予算化と、聴覚障害児発見時の治療並びに療育体制の整備・充実をお願いする。
7. 妊産婦・乳幼児等の健康管理にかかる事業の確実な推進を図るため、都道府県市町村に対する強力なご指導と母子保健事業等国庫補助事業の復活をお願いする。
8. 小規模事業所の母性健康管理電話相談事業の継続及び推進をお願いする。
9. 若手産婦人科医師確保のための積極的な支援をお願いする。
また、慢性的な産婦人科診療関係医療従事者不足を解消するためにも、産科医師全般および急増した女性医師に対応しうる労働環境の整備ならびに看護師、助産師養成に係る施設整備費、運営費等補助金の増額、修学資金貸与制度の拡充をお願いする。
10. 健やか親子21推進協議会・課題2「妊娠出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」幹事会開催経費の予算化をお願いする。

自由民主党

政務調査会厚生労働部会長 殿
組織本部厚生関係団体委員

社団法人 日本産婦人科医会
会長 坂元正一

平成16年度税制改正要望書

少子高齢化対策は我が国の最重要課題の一つであります。産婦人科医療は、引き続き進行している少子化の中で、女性の生涯に亘る健康の保持・増進並びに次世代を担う胎児・新生児の命運を預かる極めて重要な使命を有する医療であります。

こうした重要な使命を遂行する医療の直接の担当者たる産婦人科医に対する関係税制については、必ずしも十分な配慮がなされているとは言えない現状にあります。

日本産婦人科医会は、常に国民に良質な医療を提供し、その生命と健康の保持・増進に努めるため、日本医師会と共に努力してきているところであり、今般の税制改正要望についても、当然、日本医師会の方針を全面的に支持するものであります。

しかし、近年の産婦人科医療を取り巻く医療環境は、少子化のため特に厳しいものがあります。また、産婦人科医業は、その医療の特殊性から時間的にも厳しい条件下に置かれているため、産婦人科医師を始め医療従事者の志望者は少なく、年々減少しておりこの状態が継続すると今後の産婦人科診療に深刻な影響を与えかねません。

よって、我が国が今、最も力点を置かねばならない少子化対策の一環として、また産婦人科医師等医療従事者の長期安定確保等のためにも、女性医療、産婦人科医療に対する各種の施策について、税制面で特段のご配慮をお願いします。

記

1 社会保険診療報酬等に対する消費税の非課税制度の改善を

社会保険診療報酬等に対する消費税が非課税とされていることから、社会保険診療報酬等に対応する消費税分は、仕入税額控除が適用されないため、医療機関が一旦負担し、その分は社会保険診療報酬等に反映して回収されることとされています。

しかし、消費税導入時、その後の消費税率引き上げの際においても、社会保険診療報酬に十分反映されたとはいえず、消費税の一部は医療機関が負担したままの「損税」となっております。

これを解消するため、社会保険診療報酬等に対する消費税を非課税制度からゼロ税率による課税制度に改めるようお願いします。

2 少子化対策への積極的支援と関連事業等への減税措置等の実施を

我が国は世界的にも稀な急速な少子社会に突入しております。日本産婦人科医会は、この対策の医療を担当する直接の関係団体として日本医師会等と協調し積極的に取り組んでおりますが、かかる少子化対策関係事業等については非課税対象とするとともに、不妊夫婦が治療を受

け易くする施策をとる等につき全面的支援をお願いします。

3 産婦人科医業承継時の相続税、贈与税制度の更なる改善を

産婦人科医療は、その医療の特殊性、労働の苛烈さから、事業を継承するものが暫減しております。地域医療を確保する上でも、医療水準の維持向上が期待できる産婦人科診療機関の円滑な事業継承は極めて重要であります。

このため、産婦人科医業承継資産の課税特例制度の創設をお願いします。

4 救急医療用機器に係る固定資産税の特例措置の適用期限の延長と対象機器の追加を

産婦人科医療の分野では、周産期救急医療システム作りが喫緊の課題となっており、そのための機器として、例えば、呼吸心拍血圧モニター、分娩監視装置、NICU用保育器、聴覚スクリーニング装置、救急用自動車等の整備は、救急医療時の安全確保上からも必需のものであります。固定資産税の特例措置の適用期限を延長するとともに、これらの医療機器を新たに追加することをお願いします。

C. 法制・倫理

1. 法制委員会

[通信委員会(臨時)]平成15年8月12日

協議事項

委員長、副委員長の選出について

[第1回]平成16年3月13日 日産婦医会会議室 出席者13名

報告事項

- (1)平成14年度第2回法制・倫理委員会議事録、平成15年度法制(通信)委員会結果の確認について
- (2)日本産科婦人科学会倫理委員会報告について
- (3)法務省民事局よりの精子・卵子・胚の提供等による生殖補助医療により出生した子の親子関係に関する民法の特例に関する要綱中間試案について
- (4)各都道府県における指定医師基準・施設基準の現状について
- (5)その他

協議事項

- (1)平成16年度事業計画(案)・予算(案)に関する件
- (2)母体保護法改正に向けての日本産婦人科医会提言の方針に関する件

2. 平成15年度家族計画・母体保護法指導者講習会

平成15年12月6日 日本医師会館 出席者177名

日本医師会、厚生労働省共催の当該講習会に全面的に協力した。

講演「働く女性の母性の保護」

シンポジウム「若年者の性の問題を考える」

- (1)十代の人工妊娠中絶手術について
- (2)性教育のあり方について
- (3)最近の性感染症の動向について

指定発言 行政の立場から

3. 指定医師基準・施設基準のとりまとめ

各都道府県における指定医師基準・施設基準の現状についてとりまとめを行った。

各種会議

通常総会、理事会、常務理事会、支部長会、会員倫理委員会、ブロック代表者会議およびブロック協議会を次のとおり開催した。

1. 通常総会

[第56回] 平成15年 6 月28日 京王プラザホテル 出席者127名

議事

- 第 1 号議案 平成14年度事業報告(案)に関する件
- 第 2 号議案 平成14年度決算(案)に関する件
- 第 3 号議案 名誉会員の推薦に関する件
- 第 4 号議案 特別会員の推薦に関する件

[第57回] 平成16年 3 月28日 京王プラザホテル 出席者127名

議事

- 第 1 号議案 役員補充の承認に関する件
- 第 2 号議案 平成16年度事業計画(案)に関する件
- 第 3 号議案 平成16年度収支予算(案)に関する件
- 第 4 号議案 名誉会員の推薦に関する件
- 第 5 号議案 特別会員の推薦に関する件
- 第 6 号議案 平成16年度会費免除者に関する件

2. 理事会

[第 1 回] 平成15年 4 月26日 日本産婦人科医会会議室 出席者66名

協議事項

- 1. 副会長・常務理事・理事・幹事の業務分担に関する件(総務)
- 2. 委員会委員の選任に関する件(総務)
- 3. 平成15年度事業推進に関する件(総務)
- 4. 新規会員の入会承認に関する件(総務)
- 5. 医道審議会医道分科会への要望書(案)について(安全・紛争)
- 6. 「有床診療所検討小委員会」活動費(案)等に関する件(医療)
- 7. 第33回全国支部社会保険担当者連絡会の運営に関する件(社保)

[第 2 回] 平成15年 6 月28日 日本産婦人科医会会議室 出席者53名

協議事項

- 1. 平成14年度事業報告(案)に関する件(総務)
- 2. 平成14年度決算(案)に関する件(経理)
- 3. 第56回通常総会の運営に関する件(総務)
- 4. 委員選任に関する件(総務)
- 5. 新規会員の入会申請の承認に関する件(総務)
- 6. 名誉会員の推薦に関する件(総務)
- 7. 特別会員の推薦に関する件(総務)
- 8. 平成15年度会費免除者(追加)に関する件(総務)

9. 第30回日本産婦人科医会学術集会・徳島大会開催に伴う補助金の増額依頼に関する件（総務）
10. 平成15年度コ・メディカル生涯研修会の運営に関する件（コ・メディカル）
11. 第28回日本産婦人科医会性教育指導セミナーの開催立候補申請に関する件（女性）
12. 「日本産婦人科医会性教育指導セミナー」の名称に関する件（女性）
13. 第31回全国支部献金担当者連絡会及びおぎゃー献金40周年・日母おぎゃー献金基金設立25周年記念式の運営に関する件（献金）

[第 3 回] 平成15年 8 月 2 日 日本産婦人科医会会議室 出席者54名

協議事項

1. 平成15年度支部長会の開催に関する件（総務）
2. 新規会員の入会申請の承認に関する件（総務）
3. 第31回日本産婦人科医会学術集会の開催地（千葉県支部要請）に関する件（総務）
4. 勤務医委員会名簿の訂正に関する件（勤務）

[第 4 回] 平成15年11月29日 日本産婦人科医会会議室 出席者55名

協議事項

1. 東海ブロック選出理事の交代に関する件（総務）
2. 新規会員の入会申請の承認に関する件（総務）
3. 平成16年度事業計画・予算の基本方針に関する件（総務）
4. 日産婦学会専門医制度規約の一部改定(案)の周知に関する件（総務）
5. 平成17年度会員研修テーマに関する件（研修）
6. 平成15年度全国ブロック医療対策連絡会の運営に関する件（医療）

[第 5 回] 平成16年 2 月 21 日 日本産婦人科医会会議室 出席者63名

協議事項

1. ブロック代表者会議の結果に関する件（総務）
2. 平成16年度事業計画(案)に関する件（総務）
3. 平成16年度収支予算(案)に関する件（総務）
4. 第57回通常総会の運営に関する件（総務）
5. 名誉会員の推薦に関する件（総務）
6. 特別会員の推薦に関する件（総務）
7. 平成16年度会費免除者に関する件（総務）
8. 新規会員の入会承認に関する件（総務）
9. 医療事故・過誤多発施設・医師への対応に関する件（安全・紛争）
10. 第27回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会の開催に関する件（女性）

[第 6 回] 平成16年 3 月 27 日 日本産婦人科医会会議室 出席者62名

協議事項

1. 新規会員の入会承認に関する件（総務）
2. 第30回全国産婦人科教授との懇談会に関する件（総務）

3. 常務理事会

[第 1 回] 平成15年 4 月 8 日 市ヶ谷ハウス 出席者37名

協議事項

1. 副会長・常務理事・理事・幹事の業務分担に関する件（総務）
標記に関し協議。理事等の業務分担について調整を図り、理事会に諮る。了承。
2. 委員会委員の選任に関する件（総務）
標記に関し協議。各担当部は候補者リストを、5月の連休明けを目途に提出する。了承。
3. 平成15年度関連諸団体担当者に関する件（総務）
標記に関し協議。各自確認の上、事務局に報告する。了承。
4. 第1回理事会の次第に関する件（総務）
標記に関し協議。以下を次第に追加する。
< 報告事項 >
(1) 厚生科学審議会生殖補助医療部会の審議状況について（新家副会長）
(2) 民事事例に対する行政処分について（佐々木副会長）
(3) 医道審議会医道分科会への要望書(案)について（安全・紛争）
(4) 平成15年度小規模事業所の母性健康管理に関する相談体制の整備事業の実施について（母子）
(5) 平成15年度乳がん検診用マンモグラム読影に関する研修会の開催について（がん）
< 協議事項 >
「有床診療所検討小委員会」活動費(案)等に関する件
なお、議題の追加があれば、早急に提出する。了承。
5. 新規会員の入会承認に関する件（総務）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
6. 北海道ブロック協議会・社保研修会並びに北海道支部学術研修会（8月30日・31日 札幌市）への役員派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。ブロック協議会には、清川副会長、神谷幹事を、また、社保研修会には、白須常務理事及び秋山幹事をそれぞれ派遣する。なお、ブロック協議会に派遣する常務理事については後日検討する。了承。
7. 北陸ブロック協議会・社保協議会（6月14日 富山市）への役員派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。ブロック協議会には、佐々木副会長、宇津野幹事を、また、社保協議会には、佐々木副会長（兼）及び高見幹事をそれぞれ派遣する。
ブロック協議会に派遣する常務理事については後日検討する。了承。
8. 福島県産婦人科医会総会（4月27日 福島市）への講師派遣依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。川端常務理事を派遣する。了承。
9. 岡山県支部総会（5月18日 岡山市）への講師派遣依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。佐々木副会長を派遣する。了承。
10. 平成15年度香川県産婦人科医会・日本産科婦人科学会香川地方部会合同研修会・学術講演会（6月7日 高松市）への講師派遣依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。佐々木副会長を派遣する。了承。

11. 平成15年度日本産婦人科医会熊本県支部定例総会（4月20日 熊本市）への講師派遣依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。清川副会長を派遣する。了承。
12. 母子保健推進会議よりの後任理事の推薦並びに平成15年度定期総会への出席依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。同会議の理事に、清川副会長を推薦し、出席させる。了承。
13. 朝日新聞社よりの第1回「21世紀の育児フォーラム」の開催（6月1日 東京国際フォーラム）に対する後援名義使用依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。後援する。了承。
14. 医道審議会医道分科会への要望書(案)に関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。理事会に報告する。なお、意見があれば、早急に提出する。了承。
15. 「有床診療所検討小委員会」活動費(案)に関する件（医療）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
16. 第33回全国支部社会保険担当者連絡会の運営に関する件（社保）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
17. 日産婦医会報5月号の編集方針に関する件（広報）
標記に関し協議。台割どおりとする。了承。
18. 平成15年度小規模事業所の母性健康管理に関する相談体制の整備事業の実施に関する件（母子）
標記に関し協議。理事会の報告事項に加える。了承。
19. 厚生労働省母子保健課長より依頼の「平成15年度出産前小児保健指導事業」実施通知に対する協力要請に関する件（母子）
標記に関し協議。協力する。了承。
20. 「全国オープンシステム病院」調査に関する件（母子）
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。

[第2回] 平成15年4月23日 日本産婦人科医会会議室 出席者32名

協議事項

1. 第1回理事会のタイムスケジュールに関する件（総務）
標記に関し協議。司会は新家副会長とする。また、報告事項の「医道審議会医道分科会への要望書(案)について」は、協議事項とする。なお、理事提出議題への対応は、総務担当常務理事とする。了承。
2. 高知県支部定例総会ならびに学術講演会への役員派遣依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。清川副会長を派遣する。了承。
3. 北海道ブロック協議会・社保研修会並びに北海道支部学術研修会（8月30日～31日 札幌市）への派遣役員の決定に関する件（総務）
標記に関し協議。田中常務理事とする。了承。
4. 第31回日本産婦人科医会北陸ブロック協議会（6月14日富山市）への派遣役員の決定に関する件（総務）
標記に関し協議。栃木常務理事とする。了承。
5. 鹿児島市立病院周産期医療センター・^{いばら}茨^{きとし} 聡代表よりの第96回新生児セミナー講演会講師派遣依頼に関する件（総務）

- 標記に関し協議。清川副会長を派遣する。了承。
6. 全国性教育研究団体連絡協議会・田能村 祐麒^{たのむら ゆうき}理事長よりの第33回全国性教育研究大会への後援名義使用許可申請に関する件（総務）
標記に関し協議。後援する。了承。
7. 江井 晃氏（(財)日本母子衛生助成会・理事/健康情報広報センター・代表）よりの「12カ国外国人来診産婦人科患者の問診表」に対する監修名義使用許可依頼並びに配付に関する件（総務）
標記に関し協議。承認する。了承。
8. 日本産科婦人科学会・野澤 志朗会長、2007 AOCOG実行委員会・武谷雄二委員長よりの「2007 Asian and Oceanic Congress of Obstetrics & Gynecology(AOCOG) 実行委員会」の委員推薦依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。岡井常務理事、赤松・久慈両幹事を推薦する。了承。
9. 九州ブロック会常任委員会よりの助産師の養成についての質問に関する件（コメディカル）
標記に関し協議。本日の議論を踏まえ、回答案を作成する。了承。
10. 健やか親子21推進協議会参加団体における平成14年度取組実績及び平成15年度行動計画の提出に関する件（母子）
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。
11. 「葉酸摂取による胎児異常発生予防」マニュアル作成に関する件（先天）
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。
12. 乳がん検診用マンモグラム読影に関する研修会の開催（7月12日～13日 横浜市、9月6日～7日 八戸市）に関する件（がん）
標記に関し協議。理事会に報告する。了承。
13. その他
役員業務分担の一部変更に関する件（総務）
標記に関し協議。原案どおりとし、理事会に諮る。了承。

[第3回] 平成15年5月20日 日本産婦人科医会会議室 出席者38名
協議事項

1. 委員会委員選任(案)に関する件（総務）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
2. 第2回理事会の運営に関する件（総務）
標記に関し協議。追加事項があれば、早急に提出する。了承。
3. 第56回通常総会の運営に関する件（総務）
標記に関し協議。追加事項があれば、早急に提出する。了承。
4. 東海ブロック協議会・社保協議会（7月13日 岐阜市）への役員派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。ブロック協議会には、佐々木副会長・大村常務理事・清水幹事を、社保協議会には、佐々木副会長（兼任）・赤松幹事をそれぞれ派遣する。了承。
5. 滋賀県産婦人科医会総会並びに研修会（6月15日 大津市）への役員派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。川端常務理事を派遣する。了承。

6. 平成15年度福岡県産婦人科医会臨時研修会（7月26日 福岡市）への役員派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。佐々木副会長を派遣する。了承。
7. 群馬県支部研修会への講師派遣依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。坂元会長が出席する。派遣する幹事1名の選考については、幹事会一任とする（後日報告）。了承。
8. 京都大学・塩田浩平教授よりの第43回日本先天異常学会学術集会（7月2日 大阪府豊中市）へのシンポジスト派遣依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。平原常務理事を派遣する。担当は、先天とする。了承。
9. 平成15年度日本産科婦人科学会「鑑定人推薦委員会」委員の推薦に関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
10. 日本医師会疑義解釈委員会・落合和徳委員よりの供給停止予定品目（平成15年度第1回）検討依頼に関する件（社保）
標記に関し協議。社会保険委員会で検討し、常務理事会に報告の上、回答する。了承。
11. 日産婦医会報6月号の編集方針に関する件（広報）
標記に関し協議。台割どおりとする。了承。
12. 福岡県産婦人科医会（福嶋恒彦会長）よりの「平成17年度第28回日本産婦人科医会性教育指導セミナー」開催担当の立候補に関する件（女性）
標記に関し協議。申請どおりとする。了承。
13. その他
 - (1) 平成14年度事業報告の取りまとめに関する件（総務）
標記に関し協議。原案に関し修正等がある場合は、早急に提出する。了承。
 - (2) 日本外科医会（山田 武二郎会長）よりの日本外科医会第10回総会（6月22日 センチュリーハイアット東京）への出席案内に関する件（総務）
標記に関し協議。宮崎幹事長を派遣する。了承。

[第4回] 平成15年6月3日 日本産婦人科医会会議室 出席者36名

協議事項

1. 第2回理事会の議題に関する件（総務）
標記に関し協議。司会は佐々木副会長とする。なお、議題等の追加があれば、早急に提出する。了承。
2. 第56回通常総会の議題に関する件（総務）
標記に関し協議。議題等の追加があれば、早急に提出する。了承。
3. 名誉会員の推薦に関する件（総務）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
4. 特別会員の推薦に関する件（総務）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
5. 平成15年度会費免除申請者（追加）に関する件（総務）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
6. 新規会員の入会申請に関する件（総務）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

7. 平成14年度事業報告(案)に関する件(総務)
標記に関し協議。理事会に諮る。なお、修正等があれば、早急に提出する。了承。
8. 平成14年度決算(案)に関する件(経理)
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
9. 平成15年度日本産婦人科医会中国ブロック協議会・社保協議会(9月13日~14日)への講師派遣に関する件(総務)
標記に関し協議。ブロック協議会には、新家副会長・佐藤常務理事・大村副幹事長を、社保協議会には、亀井常務理事・渡辺幹事をそれぞれ派遣する。了承。
10. 平成15年度日本産婦人科医会関東ブロック協議会(9月15日)への役員派遣に関する件(総務)
標記に関し協議。新家副会長・宮崎幹事長を派遣する。了承。
11. 平成15年度日本産婦人科医会群馬県支部研修会(8月30日 前橋市)への講師派遣依頼に関する件(総務)
標記に関し協議。坂元会長が出席する。清水幹事を派遣する。了承。
12. 日産婦学会・野澤志朗会長より協力依頼の第56回日本産科婦人科学会学術集会「生涯研修プログラム」に係る学会・医会共同企画に関する件(総務)
標記に関し協議。生涯研修プログラムの共同企画に協力する。了承。
13. 第20回国際胎児病学会・中野仁雄会長よりの同学会への後援名義使用許可依頼に関する件(総務)
標記に関し協議。後援する。了承。
14. 第12次定点モニター発足に関する件(医療)
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
15. 平成15年度コ・メディカル生涯研修会の運営に関する件(コ・メディカル)
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
16. 第31回全国支部献金担当者連絡会及びおぎゃー献金40周年・日母おぎゃー献金基金設立25周年記念式の運営に関する件(献金)
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
17. その他
 - (1) 第30回日本産婦人科医会学術集会・徳島大会における対外広報活動に関する件(総務)
標記に関し協議。徳島大会長にお願いする。了承。
 - (2) (社)全国保健センター連合会平成15年度第1回通常総会の開催案内に関する件(総務)
標記に関し協議。委任状とする。了承。
 - (3) ブロック会長会議の開催(6月28日)に関する件(総務)
標記に関し協議。了承。
 - (4) 「日本産婦人科医会性教育指導セミナー」の名称に関する件(女性)
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

[第5回]平成15年6月17日 日本産婦人科医会会議室 出席者32名
協議事項

1. 第2回理事会のタイムスケジュールに関する件(総務)

- 標記に関し協議。司会は、佐々木副会長とする。了承。
2. 第56回通常総会のタイムスケジュールに関する件（総務）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
 3. 第56回通常総会予算決算委員会予備審議会の運営に関する件（総務）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
 4. 特別会員の推薦に関する件（総務）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
 5. 第3回理事会（8月2日）の運営に関する件（総務）
標記に関し協議。報告事項等、各所で検討のこと。了承。
 6. 平成15年度支部長会（8月3日）の運営に関する件（総務）
標記に関し協議。原案どおりとする。なお、支部総務担当者も同席とする。了承。
 7. 四国ブロック協議会・社保協議会への役員派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。ブロック協議会には、新家副会長・朝倉常務理事・五味淵幹事を、社保協議会には、亀井常務理事・栗林幹事をそれぞれ派遣する。了承。
 8. 健康日本21推進全国連絡協議会第4回総会開催の案内に関する件（総務）
標記に関し協議。今回は欠席とする。了承。
 9. 矢沢 珪二郎氏よりのACOGのPractice Bulletinに関する件（総務）
標記に関し協議。保留とする。了承。
 10. 妊婦等における水銀を含有する魚介類等の摂食に関する注意事項についての周知依頼に関する件（先天）
標記に関し協議。医会報7月号等で広報する。了承。
 11. 日本産科婦人科学会・野澤志朗会長、2007AOCOG実行委員会・武谷雄二委員長よりの第20回Asianand Oceanic Congress of Obstetrics & Gynecology（2007年9月21日～25日）への協賛依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。協賛する。ただし、予算が必要となる場合は、再検討とする。了承。
 12. 日産婦医会報7月号の編集方針に関する件（広報）
標記に関し協議。台割どおりとする。了承。
 13. その他
 - (1) 第30回日本産科婦人科医会学術集会・徳島大会における「医会の広報活動」に関する件（総務）
標記に関し協議。各所で、出展等を検討し、総務に報告する。了承。
 - (2) ブロック会長会議開催の準備に関する件（総務）
標記に関し協議。検討事項に、理事定数の問題、質の高い事業の確保問題を追加する。了承。
 - (3) 日本産科婦人科学会よりの「産婦人科遺伝カウンセリング指導医（生殖）について（案）」に関する件（法制）
標記に関し協議。意見があれば、今週中に提出する。了承。

[第6回] 平成15年7月8日 日本産科婦人科医会会議室 出席者34名
協議事項

1. 第3回理事会（8月2日）の議題に関する件（総務）

- 標記に関し協議。開会時間を午後3時からとする。なお、議題等の追加があれば、早急に提出する。了承。
2. 平成15年度支部長会（8月3日）の議題に関する件（総務）
標記に関し協議。議題を早急に提出する。了承。
 3. 新規会員の入会申請の承認に関する件（総務）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
 4. 石川県支部学術研修会（8月24日）への講師派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。清川副会長を派遣する。了承。
 5. 第31回日本産婦人科医会学術集会の開催地（千葉県支部要請）に関する件（総務）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
 6. これからの母子保健を考える会他3団体よりの「第24回これからの母子保健を考えるシンポジウム - 育児を支える -」（12月5日）に対する後援依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。後援する。了承。
 7. 日本助産師会・近藤潤子会長よりの「開業助産師と病院・医院とのネットワーク推進検討委員会」への委員派遣依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。派遣要請のあったメンバーのほかに、協力員等でメンバーの追加を要請する。了承。
 8. 厚労省よりの「公益法人のホームページ掲載項目の更新及び掲載項目の追加要請」に関する件（総務）
標記に関し協議。掲載する。了承。
 9. (社)日本小児科医会・師研也会長よりの第3回「思春期の臨床講習会」への後援依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。後援する。了承。
 10. 薬害肝炎原告団および薬害肝炎弁護団よりの薬害肝炎被害実態調査に関する要請書に関する件（研修、安全・紛争）
標記に関し協議。回答案について、日本産科婦人科学会と調整する。了承。
 11. 鑑定人リストの追加に関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。
 12. リピーターに関する毎日新聞社のアンケートに対する回答案に関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。回答案について、意見があれば早急に提出する。了承。
 13. 勤務医委員会名簿の訂正に関する件（勤務）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
 14. 「平成16年度予算概算要求に関する要望」に関する件（母子）
標記に関し協議。不妊治療の助成制度の新設を追加する。了承。
 15. 日産婦医会報8月号の編集方針に関する件（広報）
標記に関し協議。台割どおりとする。了承。
 16. 日本対がん協会（杉村隆会長）他1団体よりのがん征圧全国大会（9月17日 静岡市）への出席案内に関する件（がん）
標記に関し協議。永井常務理事・宮城幹事を派遣する。了承。

[第 7 回] 平成15年 7 月22日 東京ドームホテル 出席者36名

協議事項

- 1 . 第 3 回理事会 (8 月 2 日) のタイムスケジュールに関する件 (総務)
標記に関し協議。司会は、清川副会長とする。了承。
- 2 . 平成15年度支部長会 (8 月 3 日) のタイムスケジュールに関する件 (総務)
標記に関し協議。連絡・協議事項に、羊水塞栓症の血清検査事業 (医療安全・紛争対策部) 第10回乳がん検診用マンモグラム読影に関する研修会について (がん対策部) を追加する。了承。
- 3 . 近畿ブロック社保協議会 (10月25日 ~ 26日 神戸市) への役員派遣に関する件 (総務)
標記に関し協議。白須常務理事及び前村幹事を派遣する。了承。
- 4 . 毎日新聞のリピーターに関するアンケート調査回答に関する件 (安全・紛争)
標記に関し協議。再検討する。了承。
- 5 . 「第12次定点モニター」会員 (支部推薦) に対する協力依頼に関する件 (医療)
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。
- 6 . 産婦人科診療費調査に関する件 (医療)
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。
- 7 . 介護施設における高齢婦人科疾患に関するアンケートの実施に関する件 (女性)
標記に関し協議。了承。なお、アンケート (案) について、事前に意見を求める。
- 8 . 小規模事業所母性健康管理電話相談事業に係るアンケート集計結果に関する件 (母子)
標記に関し協議。事業の趣旨の徹底を図る。了承。
- 9 . その他
平成15年度アンケート等調査リストに関する件 (総務)
標記に関し協議。調査の重複を避けるため、関係各部で調整のこと。なお、調査の計画がある場合は、総務部に報告する。了承。

[第 8 回] 平成15年 8 月26日 日本産婦人科医会会議室 出席者35名

協議事項

- 1 . 関東ブロック社保協議会 (11月 2 日 甲府市) への役員派遣に関する件 (総務)
標記に関し協議。亀井常務理事及び杉山幹事を派遣する。なお、9月15日に開催の関東ブロック協議会への役員派遣に関し、川端常務理事を追加派遣する。了承。
- 2 . 九州ブロック協議会・社保協議会 (10月 4 ・ 5 日 宮崎市) への役員派遣に関する件 (総務)
標記に関し協議。ブロック協議会には、佐々木副会長、永井常務理事及び宮崎幹事を、社保協議会には、佐々木副会長 (兼任) 及び宮城幹事をそれぞれ派遣する。了承。
- 3 . 「公開講座に対する助成について (案) 」に関する件 (総務)
標記に関し協議。意見があれば、2週間以内に提出する。了承。
- 4 . 社団法人母子保健推進会議 (坂元正一会長) よりの第 3 回母子保健推進員全国大会 (11月 7 日 富山市) に対する後援依頼に関する件 (総務)
標記に関し協議。後援する。了承。
- 5 . 社団法人母子保健推進会議 (坂元正一会長) よりのポスター「ママ、パパ、タバ

- コすわないで」への後援名義の使用許可依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。後援する。了承。
- 6．社団法人母子保健推進会議（坂元正一会長）よりの平成15年度「母子保健強化月間」及び「禁煙による障害発生防止運動」に係るポスター配付の際の「添付文書」の承諾依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。了承。
- 7．日産婦学会（野澤志朗会長）よりの「平成16年度日本産科婦人科学会主催公開講座」に対する後援名義使用許可依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。後援する。了承。
- 8．厚労省雇用均等・児童家庭局長よりの平成15年母子保健家族計画全国大会（健やか親子21全国大会）への後援依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。後援する。了承。
- 9．法務省民事局参事官室よりの「精子・卵子・胚の提供等による生殖補助医療により出生した子の親子関係に関する民法の特例に関する要綱中間試案」に対する事前検討の依頼に関する件（法制）
標記に関し協議。特に医会としての意見は、提出しない。了承。
- 10．第56回日本産科婦人科学会学術講演会・生涯研修プログラム講演内容・演者(案)に関する件（研修）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- 11．日産婦医会報9月号の編集方針に関する件（広報）
標記に関し協議。台割どおりとする。了承。
- 12．「第26回性教育指導セミナー」受講会員アンケート結果の取り扱いに関する件（女性）
標記に関し協議。配布先については、支部及び関係行政機関等その他要望先とする。了承。
- 13．厚労省雇用均等・児童家庭局長よりの「周産期医療対策整備事業の実施について」(一部改正)の周知依頼に関する件（母子）
標記に関し協議。支部に通知する。了承。
- 14．その他
広島県砂堀支部長提案の「分娩および子育て支援保険（仮称）」の取扱いについて（総務）
標記に関し協議。要望事項とする。了承。

[第9回] 平成15年9月17日 日本産婦人科医会会議室 出席者26名
協議事項

- 1．第2回ブロック代表者会議の開催に関する件（総務）
標記に関し協議。議題に「乳がん検診について」を追加する。了承。
- 2．入会のご案内「産婦人科医師と生涯研修」の再版に関する件（総務）
標記に関し協議。記述内容に修正等があれば1週間以内に提出する。了承。
- 3．平成16年度税制改正要望書に関する件（総務）
標記に関し協議。要望内容は原案どおりとし、出席者は佐々木副会長とする。了承。
- 4．東京三弁護士会（東京弁護士会・田中敏夫会長他2名）よりの仲裁センターに対

- する協力依頼に関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。保留とする。了承。
- 5．学術集会徳島大会における平成15年度勤務医担当者座談会 四国ブロック に関する件（勤務）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- 6．日産婦医会報10月号の編集方針に関する件（広報）
標記に関し協議。台割どおりとする。了承。
- 7．平成15年度小規模事業所の母性健康管理に関する相談体制の整備事業実施要領の変更に関する件（母子）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- 8．いいお産プロジェクト（戸田律子理事長：NPO法人申請中）よりの いいお産プロジェクト「いいお産の日」シンポジウム 参加票の提出に関する件（母子）
標記に関し協議。提出する。了承。
- 9．平成15年母子保健家族計画全国大会への役員派遣に関する件（母子）
標記に関し協議。母子保健推進会議坂元会長の出席（欠席の場合は、朝倉常務理事を派遣する。）をもってこれに代える。了承。
- 10．社団法人日本産婦人科医会会員限定ホームページの開設に関する件（情報）
標記に関し協議。掲載手続きは、掲載内容に応じ必要な手続きを経ることとする。了承。
- 11．その他
日産婦医会の対外広報に関する件（総務）
標記に関し協議。10月5日に開催する第106回日産婦学会関東連合地方部会及び学術集会における展示物等の追加があれば、1週間以内に提出する。了承。

[第10回] 平成15年9月30日 日本産婦人科医会会議室 出席者31名

協議事項

- 1．東海ブロック選出理事の辞任に関する件（総務）
標記に関し協議。受理する。なお、後任の補充については、東海ブロック会長よりの報告を待って処理する。了承。
- 2．平成15年度日本産婦人科医会東北ブロック社保連絡協議会（11月2日 盛岡市）への役員派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。白須常務理事及び西井幹事を派遣する。了承。
- 3．厚労省母子保健課長よりの「平成15年度乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間」に対する協力依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。協力する。了承。
- 4．平成17年度会員研修テーマに関する件（研修）
標記に関し協議。テーマについては、「超音波診断」及び「痛みの診断と治療」とする。了承。
- 5．研修ノートNo.71「内視鏡下手術」の取り扱いに関する件（研修）
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。
- 6．東京三弁護士会（東京弁護士会・田中敏夫会長他2名）よりの仲裁センターに対する協力依頼に関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。ブロック代表者会議で意見を聞く等十分に検討の上、結論を出

すこととする。了承。

7. 各部のアンケート調査に関する件

- (1) 医療事故把握のための実態調査（アンケート調査）に関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- (2) 「産婦人科を取り巻く諸問題に関するアンケート調査」（定点モニター全員送付）に関する件（医療）
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。
- (3) 「周産期の女性へのDomestic Violenceによる精神健康被害と育児への影響の実態調査」（定点モニター全員に協力依頼後承諾者のみ送付）に関する件（医療）
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。
- (4) 「10代の出産・育児に関するアンケート調査」（医療対策委員会の委員、役員等の医療機関およびその紹介施設）に関する件（医療）
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。

8. プレマリン錠の安定供給に関する要望書に関する件（社保）

標記に関し協議。原案どおりの内容で提出する。了承。

9. その他

10月12日（学術集会徳島大会開催時）のブロック代表者会議の議題に、「医療事故リピーター対策について」を追加する。了承。

[第11回] 平成15年10月14日（通信会議）

協議事項

1. 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長よりの「第9回仕事と家庭を考える月間」の実施に対する協力依頼（周知、シンポジウムへの参加）に関する件（総務）
標記に関し、周知に協力し、シンポジウムへの参加については各自対応とすることについて、回答者全員の承認があった。
2. 厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課長よりの平成16年度「児童福祉週間」標語募集事業への協力依頼に関する件（総務）
標記に関し、回答者全員の承認があった。
3. 日産婦医会報11月号の編集方針に関する件（広報）
提案の台割にそって医会報11月号の編集を進めることについて、回答者全員の承認があった。

[第12回] 平成15年10月28日 日本産婦人科医会会議室 出席者35名

協議事項

1. 第4回理事会の運営に関する件（総務）
標記に関し協議。報告事項に「乳がん検診について」を追加する。その他報告・協議事項があれば、提出する。了承。
2. 職員就業規則、事務局組織規程、文書規程、経理規程、職員給与規程及び職員退職規程の変更に関する件（総務・法制・経理）
標記に関し協議。理事会に報告する。了承。
3. 平成16年度事業計画・予算スケジュールに関する件（総務）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
4. 日本医師会（坪井栄孝会長）よりの平成15年度家族計画・母体保護法指導者講習

会の開催（12月6日 日本医師会館大講堂）及び本講習会における来賓挨拶の依頼に関する件（総務）

標記に関し協議。坂元会長が出席する。了承。

5．日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会秋季研修会への講師派遣に関する件（総務）

標記に関し協議。川端常務理事を派遣する。了承。

6．愛媛県支部母体保護法指定医研修会への講師派遣に関する件（総務）

標記に関し協議。新家副会長を派遣する。了承。

7．東京三弁護士会（東京弁護士会・田中敏夫会長他2名）よりの仲裁センターに対する協力依頼に関する件（総務）

標記に関し協議。協力することとし、本件担当は、川端・白須両常務理事及び宮崎幹事長とする。了承。

8．厚生労働省雇用均等・児童家庭局長よりの母性健康管理指導事項連絡カードの周知広報の依頼に関する件（総務）

標記に関し協議。了承。

9．日産婦学会専門医制度規約の一部改定(案)に関する件（総務）

標記に関し協議。了承。

10．各部のアンケート調査に関する件

(1) 医会会員における情報技術(IT)と医療情報データベースの活用状況に関するアンケート調査(定点モニターB・C(私的病院・診療所))に関する件(医療)

標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。

(2) 病診連携の満足度に対するアンケート調査(定点モニターC(診療所))に関する件(医療)

標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。

(3) 分娩取り扱い中止後の医業に関する二次調査(支部推薦施設)に関する件(医療)

標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。

(4) 婦人科がん検診料金に関する調査(案)に関する件(がん)

標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。

11．乳がん検診に対する日本産婦人科医会の見解(案)に関する件(がん)

標記に関し協議。本日の議論を踏まえ修文し、がん対策委員会に諮る。理事会の報告事項とする。了承。

[第13回]平成15年11月11日 日本産婦人科医会会議室 出席者34名

協議事項

1．第4回理事会の議題に関する件(総務)

標記に関し協議。司会は、新家副会長とする。また、報告・協議事項の追加があれば、早急に提出する。了承。

2．新規会員の入会申請に関する件(総務)

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

3．東海ブロック選出理事の交代に関する件(総務)

標記に関し協議。次回の通常総会に諮る。了承。

4．沖縄県支部研修会(12月23日)への講師派遣に関する件(総務)

- 標記に関し協議。佐々木副会長を派遣する。了承。
5. 長崎県母体保護法指定医師研修会（2月15日）への講師派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。坂元会長が出席する。了承。
 6. 厚生労働科学研究班「産科領域における安全対策に関する研究」(主任研究者：中林正雄 愛育病院院長)よりのシンポジウム「安全な妊娠・出産をめざして - 良い産院の10カ条 - の推進」(12月17日 母子愛育会)に対する共催依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。共催する。また、出席希望者は、早急に事務局に登録する。了承。
 7. 日産婦医会報12月号の編集方針に関する件（広報）
標記に関し協議。台割どおりとする。了承。
 8. その他
東京三弁護士会のあっせん・仲裁センターに関する件（総務）
標記に関し協議。同センターより、専門家としての助言者の派遣要請があった場合は、テストケースとして適宜、対応する。ただし、本会としての対応とはしないものとする。了承。

[第14回] 平成15年11月25日 日本産婦人科医会会議室 出席者33名

協議事項

1. 第4回理事会のタイムスケジュールに関する件（総務）
標記に関し協議。原案どおりとし、理事提出議題等に対しては、各担当常務理事が対応する。了承。
2. 近畿ブロック協議会への役員派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。清川副会長、永井常務理事及び鈴木幹事を派遣する。了承。
3. 第53回日産婦高知地方部会学術集会への講師派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。永井常務理事を派遣する。了承。
4. 平成15年度広島県産婦人科医会総会講師派遣依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。川端常務理事を派遣する。了承。
5. 「医療事故多発医師（リピーター医師）対策協力事業」の提案に関する件（安全）
標記に関し協議。再検討とする。了承。
6. 「鑑定人候補者リスト」追加掲載依頼結果に関する件（安全）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
7. 平成15年度全国ブロック医療対策連絡会の運営に関する件（医療）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
8. 新生児聴覚スクリーニングのfalse negativeの周知に関する件（母子）
標記に関し協議。医会報等で周知を図る。了承。
9. インフルエンザワクチンに関する件（母子・先天）
標記に関し協議。医会報等で周知を図る。了承。
10. 風しん予防接種の重要性の周知に関する件（先天）
標記に関し協議。医会報等で周知を図る。了承。
11. 乳房健康研究会（NPO法人）よりの「第3回ミニウオーク&ランフォーブレストケア」に対する後援依頼に関する件（がん）

- 標記に関し協議。後援する。了承。
12. おぎゃー献金提携クレジットカード（OMCカード）利用協力のお願に関する件（献金）
標記に関し協議。協力する。了承。
13. その他
- （1）日産婦学会の生殖補助医療に関する諸登録の申請にあたって留意すべき事項（案）に関する件（法制）
標記に関し協議。意見があれば、白須・亀井常務理事まで早急に提出する。了承。
- （2）職員給与規程変更案の一部修正に関する件（法制）
標記に関し協議。理事会に報告する。了承。

[第15回] 平成15年12月9日 日本産婦人科医会会議室 出席者32名

協議事項

1. 東京三弁護士会仲裁センターへの協力依頼に対する回答(案)に関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
2. 医療事故把握のための実態調査結果の取り扱いに関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。内部資料扱いとし、配布は、通知文に関し関係機関と調整済み次第とする。なお、配布先は、支部長、支部担当者とする。
了承。
3. 平成15年度「コ・メディカル対策特集号」の編集方針に関する件（コ・メディカル）
標記に関し協議。台割どおりとする。了承。
4. NICUに関する実態調査(案)に関する件（母子）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
5. 日産婦医会報1月号の編集方針に関する件（広報）
標記に関し協議。台割どおりとする。了承
6. その他
厚生労働省よりの母子健康手帳の様式改正の周知依頼に関する件（母子）
標記に関し協議。了承。

[第16回] 平成15年12月24日 ロイヤルパーク汐留タワー 出席者35名

協議事項

1. 平成16年度事業計画・予算会長ヒアリングのタイムスケジュールに関する件（総務）
標記に関し協議。了承。
2. 平成16年度諸会議開催の日程(案)に関する件（総務）
標記に関し協議。原案どおりとし、早急に支部等に通知する。了承。
3. 平成17年度日本産婦人科医会学術集会の開催担当ブロックについて（依頼）の通知に関する件（総務）
標記に関し協議。以降、開催担当ブロックに対し、開催依頼通知を出すこととする。了承。

4. 研修ノートNo.70妊娠と感染症の取扱いに関する件(研修)
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。
5. 厚生労働省老健局老人保健課よりの第2回がん検診に関する検討会(1月16日)への出席依頼に関する件(がん)
標記に関し協議。永井常務理事を派遣する。了承。
6. その他
平成16年度診療報酬点数改定作業への対応に関する件(社保)
標記に関し協議。社会保険部一任とする。了承。

[第17回]平成16年1月13日 日本産婦人科医会会議室 出席者28名

協議事項

1. 第5回理事会(2月21日)の運営に関する件(総務)
標記に関し協議。報告事項等追加があれば、次回までに提出する。了承。
2. 第57回通常総会(3月28日)の議題に関する件(総務)
標記に関し協議。報告事項等追加があれば、次回までに提出する。了承。
3. 平成16年度事業計画(案)の取りまとめに関する件(総務)
標記に関し協議。修正等がある場合は、早急に提出する。了承。
4. 厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)「望まない妊娠、人工妊娠中絶を防止するための効果的な避妊教育プログラムの開発に関する研究」班(主任研究者:佐藤郁夫自治医科大学名誉教授)よりの本会役員の研究協力者としての参画要請に関する件(総務)
標記に関し協議。田邊・朝倉両常務理事を研究協力者とする。なお、佐藤常務理事の追加を要請する。了承。
5. (財)母子衛生研究会(金田一郎理事長)よりの「在日外国人のための母子保健・子育て支援シンポジウム」(東京会場:2月3日、大阪会場:2月12日)に対する後援依頼に関する件(総務)
標記に関し協議。後援する。了承。
6. 東北ブロック協議会(平成15年度後半期東北地区日産婦学会・医会連絡会)2月22日(仙台)への役員派遣に関する件(総務)
標記に関し協議。清川副会長、田中常務理事及び安達幹事を派遣する。了承。
7. 研修ノートNo.72、73の項目・執筆者(案)に関する件(研修)
 - (1) 研修ノートNo.72「婦人科における二次感染とリスクマネージメント」
 - (2) 研修ノートNo.73「不正性器出血」
 標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
8. 日産婦医会報2月号の編集方針に関する件(広報)
標記に関し協議。台割どおりとする。了承
9. 厚生労働省第2回がん検診に関する検討会(1月16日)に関する件(がん)
標記に関し協議。発言する内容等については協議内容のとおりとする。了承。
10. その他
「良い産院の10カ条」の取扱いについて討議。
マスコミの誤った報道により、会員の間の一部混乱が起きているので、会員の疑問に正確に答えるため本会の意見を早急にまとめ(担当:田邊常務理事)、医会報に掲載することが確認された。

[第18回] 平成16年 1月29日 日本産婦人科医会会議室 出席者30名

協議事項

1. 平成16年度事業計画(案)に関する件(総務)
標記に関し協議。理事会に諮る。なお、修正等があれば、2月2日(月)までに提出する。了承。
2. 平成16年度収支予算に関する件(経理)
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
3. 第5回理事会(2月21日)の次第に関する件(総務)
標記に関し協議。協議事項に「ブロック代表者会議の結果について」を追加する。更に追加事項があれば、早急に提出する。了承。
4. 第57回通常総会(3月28日)の次第に関する件(総務)
標記に関し協議。追加事項があれば、早急に提出する。了承。
5. 第57回通常総会予算決算委員会予備審議会の開催に関する件(総務)
標記に関し協議。原案どおりとし、出席者は、総務・経理担当の副会長及び常務理事、経理担当理事、幹事長、並びに総務・経理担当の幹事とする。了承。
6. 本部推薦の名誉会員・特別会員に関する件(総務)
標記に関し協議。候補者がいれば、推薦する。了承。
7. 会費完納会員数及び代議員数(平成15年12月31日現在)の確認に関する件(総務)
標記に関し協議。支部報告どおりとする。了承。
8. 厚労省雇用均等・児童家庭局育成環境課長よりの平成16年度「児童福祉週間」への協力及び実施要領における名義使用許可依頼に関する件(総務)
標記に関し協議。名義使用を許可する。協力内容として、支部月例等で広報する。了承。
9. 山梨県医師会長、日産婦医会山梨県支部長よりの成人病検診従事者講習会(2月17日甲府市)への講師派遣依頼に関する件(総務)
標記に関し協議。永井常務理事を派遣する。了承。
10. 医事紛争シリーズ集(平成10年10月~平成15年11月)の取り扱いに関する件(安全・紛争)
標記に関し協議。配布先は、前回どおりとする。なお、有償配布についても検討する。了承。
11. 「産婦人科診療費調査結果(部外秘)」の取り扱いに関する件(医療)
標記に関し協議。配布先は、前回どおりとする。了承。
12. 乳がん検診に対する日産婦医会の見解に関する件(がん)
標記に関し協議。日産婦学会・医会ワーキンググループと見解を調整の上、医会報に掲載する。了承。
13. その他
平成16年度諸会議[全国]開催日程の変更に関する件
標記に関し協議。第3回理事会は、9月11日、9:00~12:00とする。また、支部長会は、一日繰り上げて、9月11日、13:00~17:00とする。了承。

[第19回] 平成16年 2月10日 日本産婦人科医会会議室 出席者33名

協議事項

1. 第5回理事会(2月21日)のタイムスケジュールに関する件(総務)
標記に関し協議。司会は、佐々木副会長とする。平成16年度事業計画(案)の説明は、総務担当の常務理事が一括して説明する。理事提出議題への対応は、各担当副会長、常務理事とする。了承。
2. 第57回通常総会(3月28日)の議題に関する件(総務)
標記に関し協議。原案どおりとし、理事会に諮る。了承。
3. 名誉会員の推薦に関する件(総務)
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
4. 特別会員の推薦に関する件(総務)
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
5. 平成16年度会費免除申請者に関する件(総務)
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
6. 新規会員の入会申請に関する件(総務)
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
7. 平成16年度事業計画(案)の一部追加に関する件(総務)
標記に関し協議。日産婦学会・医会名簿の作成(4年に一度)を追加する。了承。
8. 岡山県支部総会(5月16日 岡山衛生会館)への講師派遣に関する件(総務)
標記に関し協議。清川副会長を派遣する。了承。
9. 厚労省健康局長、第一生命保険相互会社森田富治郎社長よりの第56回保健文化賞候補者の推薦に対する協力依頼に関する件(総務)
標記に関し協議。支部月例で広報する。了承。
10. 研修ニュースNo.10「静脈血栓塞栓症」の発刊に関する件(研修)
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。
11. 「医療事故多発施設・医師への対応に関する支部通達文書(案)」に関する件(安全・紛争)
標記に関し協議。本日の議論を踏まえ修文し、理事会に諮る。了承。
12. 日産婦医会報3月号の編集方針に関する件(広報)
標記に関し協議。台割どおりとする。了承。
13. 小冊子「すこやかな月経のために」の発刊に関する件(女性)
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。了承。
14. 第26回日本産婦人科医会性教育指導セミナー集録の取り扱いに関する件(女性)
標記に関し協議。配布先、頒布価格は、原案どおりとする。了承。
15. 第27回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会の開催に関する件(女性)
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

[第20回] 平成16年 2月24日 日本産婦人科医会会議室 出席者35名

協議事項

1. 第6回理事会(3月27日)の運営に関する件(総務)
標記に関し協議。報告事項、協議事項に追加があれば、次の常務理事会までに提出する。了承。

2. 第57回通常総会の議題（主として報告事項等）に関する件（総務）
標記に関し協議。報告事項に追加があれば提出する。なお、議事案件の第1号議案「新理事の承認に関する件」の議題名を「役員補充に関する件」に改める。了承。
3. (社)日本看護協会よりの平成16年度日本看護協会通常総会並びに全国職能別集会への役員派遣依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。祝電とする。了承。
4. 平成16年度熊本県支部定例総会への講師派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。佐々木副会長を派遣する。了承。
5. インシデント・アクシデントレポート調査結果の取り扱いに関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。配付先は、通例どおりとする。また、集計結果のCD-ROMは各支部へ配付する。了承。
6. 介護施設における高齢婦人科疾患に関するアンケート結果の取り扱いに関する件（女性）
標記に関し協議。配付先は、例年どおりとする。了承。
7. 「卵巣ホルモン製剤の長期投与と安全性について」(医薬品・医療用具等安全性情報No.197)に関する件（女性）
標記に関し協議。ホームページ等で広報する。了承。
8. 平成16年度支部システム状況調査に関する件（情報）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
9. その他
会員倫理委員会の開催に関する件（総務）
標記に関し協議。開催する。了承。

[第21回] 平成16年 3月 9日 日本産婦人科医会会議室 出席者34名

協議事項

1. 第6回理事会（3月27日）の議題に関する件（総務）
標記に関し協議。司会は、清川副会長とする。報告事項に、平成16年度事業計画（案）の一部修文、財団法人おぎゃー献金基金の役員改選を追加する。了承。
2. 第57回通常総会（3月28日）の議題（主として報告事項等）に関する件（総務）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
3. 新規会員の入会申請に関する件（総務）
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
4. 第30回全国産婦人科教授との懇談会に関する件（総務）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
5. 平成15年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（総務）
標記に関し協議。原案（申請支部数16件）どおりとする。了承。
6. 平成16年度日本産婦人科医会群馬県支部研修会への講師派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。坂元会長が出席する。栗林幹事を派遣する。了承。
7. 平成16年度香川県産婦人科医会通常総会・日本産科婦人科学会香川地方部会定時総会及び合同研修会・学術講演会への講師派遣に関する件（総務）
標記に関し協議。清川副会長を派遣する。了承。

8. 厚労省母子保健課の「特定不妊治療費助成事業の考え方について」に関する説明会（医会・学会合同）に関する件（総務）
標記に関し協議。対応については、総務部一任とする。了承。
9. 母子衛生研究会よりの平成16年「母子保健指導者研修会」後援名義使用許可依頼に関する件（総務）
標記に関し協議。後援する。了承。
10. 日産婦学会倫理委員会（田中憲一委員長）よりの着床前診断に関する審査小委員会委員の推薦の追加に関する件（法制）
標記に関し協議。栃木常務理事を推薦する。了承。
11. 小冊子「自分を守るための性感染症の知識」の発刊に関する件（研修）
標記に関し協議。意見があれば、1週間以内に提出する。配布先は、日産婦医会報の付録として全会員に配布する。了承。
12. 平成16年度事業計画(案)の一部修文に関する件（安全・紛争/献金）
標記に関し協議。修文どおりとし、ファックスにより各理事の承認を求める。了承。
13. 医療事故・過誤防止事業と報告モデル集の発刊に関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。意見があれば、早急に提出する。配布先は、全会員とする。了承。
14. 会員医療事故報告に関する情報保護規定(案)に関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。本日の議論を踏まえ、再検討する。了承。
15. 医事紛争シリーズ集の配布先に関する件（安全・紛争）
標記に関し協議。配布先は、通例どおりとする。また、希望する会員には、有料頒布する。了承。
16. 日産婦医会報4月号の編集方針に関する件（広報）
標記に関し協議。台割どおりとする。了承。
17. ホームページ掲載原稿の取り扱いに関する件（先天）
(1) 食事と先天異常 (2) 妊婦の薬物服用
標記に関し協議。意見があれば、1週間以内に提出する。了承。
18. 平成15年度婦人科がん検診料金調査結果の発刊に関する件（がん）
標記に関し協議。意見があれば、1週間以内に提出する。なお、配布先は、通例どおりとする。了承。
19. 日本産婦人科乳癌研究会指導医・認定医認定基準(案)に関する件（がん）
標記に関し協議。日産婦学会と意見調整をする。了承。
20. その他
本部執行役員打合せの開催に関する件
標記に関し協議。4月5日に開催する。了承。

[第22回] 平成16年3月23日 日本産婦人科医会会議室 出席者34名

協議事項

1. 第6回理事会（3月27日）のタイムスケジュールに関する件（総務）
標記に関し協議。司会は、新家副会長とする。理事提出議題への対応者は、関係担当常務理事とする。了承。
2. 第57回通常総会（3月28日）のタイムスケジュールに関する件（総務）

標記に関し協議。原案どおりとする。代議員提出議題への対応者は、関係担当常務理事とする。了承。

3．第1回理事会（4月24日）の議題に関する件（総務）

標記に関し協議。追加があれば、早急に提出する。了承。

4．第34回全国支部社会保険担当者連絡会（5月23日）の運営に関する件（社保）

標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

5．その他

ポコズママの会（加藤咲都美代表）よりの質問「母体保護法における自然流産の解釈について」に関する件（法制）

標記に関し協議。法制担当・栃木常務理事より回答することとする。了承。

4．支部長会

平成15年8月3日 京王プラザホテル 出席者103名

・連絡・協議

1．総務

A．庶務

ブロック代表者会議について

平成15年度アンケート等調査予定（案）について

B．対外広報・渉外

C．法制・倫理

2．経理部

収支・支出の予測について

共同発送による経費削減額調について

3．学術研修部

本年度事業の推進について

4．医療安全・紛争対策部

平成14年12月13日「医師及び歯科医師に対する行政処分の考え方について」に対する日本産婦人科医会要望書提出とその後の動向について

「羊水塞栓症の血清検査事業」の実施について

5．医療対策部

A．医療対策

本年度事業の推進について

B．コ・メディカル対策

平成15年度コ・メディカル対策生涯研修会の開催について

6．勤務医部

本年度事業の推進について

7．社会保険部

平成16年診療報酬点数改定に関する産婦人科の要望事項について

8．広報部

本年度事業の推進について

9．女性保健部

第26回日本産婦人科医会性教育指導セミナーについて

介護施設における高齢産婦人科疾患に関するアンケートの実施について

- 10. 母子保健部
母子保健事業について
厚生労働科学研究「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」について
小規模事業所の母性健康管理に関する相談体制の整備事業について
ブレネイタル・ビジット（厚労省研究班）について
- 11. 先天異常部
本年度事業の推進について
- 12. がん対策部
本年度事業の推進について
第10回乳がん検診用マンモグラム読影に関する研修会について
- 13. 情報システム部
支部メール活用状況について
- 14. 献金担当連絡室
献金事業の推進について

5. 会員倫理委員会

平成16年3月13日 日本産婦人科医会会議室 出席者16名
議題
新聞報道の無申請着床前診断の実施に関する件

6. ブロック代表者会議

第1回 平成15年6月28日 アルカディア市ヶ谷 出席者21名
第2回 平成15年10月12日 ホテルクレメント徳島 出席者21名
第3回 平成15年11月29日 グランドヒル市ヶ谷 出席者20名

検討事項

日産婦医会学術集会のあり方、通常総会等の開催のあり方等について

7. ブロック協議会

(1) 北海道

平成15年8月30・31日 札幌市 出席者48名

本部出席者：清川・田中・神谷

議題

- 1) 中央情勢について
- 2) 会費と医会の運営について
- 3) 有床診療所問題について
- 4) 医療事故について リピーターに対する医道審議会の方針

(2) 東北

平成16年2月22日 仙台市 出席者35名

本部出席者：清川・田中・安達

議題

- 1) 平成16年度東北地区ブロック日産婦学会・医会連絡会について

- 2) 平成16年度日産婦医会東北ブロック社保連絡協議会について
- 3) 東北ブロック役員の改選について
- 4) 予算決算委員会委員候補者の推薦について
- 5) 各県より提出議題
 - 性教育指導セミナーの準備状況
 - 秋田県支部における最近の医療訴訟の現況
 - 子宮体がん検診の実施状況について

(3) 関東

平成15年9月15日 さいたま市 出席者99名

本部出席者：新家・川端・宮崎

議題

メインテーマ「産婦人科医事紛争への各都県の取組み」

- 1) 予防対策
- 2) 紛争処理
- 3) 調停・訴訟への対応

特別講演「産婦人科は20世紀をどう歩んだか？」

(4) 北陸

平成15年6月14日 富山市 出席者45名

本部出席者：佐々木・栃木・宇津野

議題

- 1) 新生児聴覚スクリーニング検査の現状について
- 2) 性教育と産婦人科医の学校医への参画について
- 3) 出生前小児保健事業（プレネイタルビジット）の各県の取組み状況とその成果について
- 4) 妊婦に対するHIV抗体検査の実施状況と費用について
- 5) 助産院における分娩の実態について
- 6) 母体保護法指定医師審査規定について
- 7) 母体保護法第14条での配偶者の同意について
- 8) 公費負担による30歳以下の若年婦人に対する子宮頸癌検診と50歳以下の有経婦人に対する子宮体癌検診の実施状況について
- 9) 減数手術に対する本部ならびに日産婦学会の姿勢と今後の対応について

(5) 東海

平成15年7月13日 岐阜市 出席者52名

本部出席者：佐々木・大村（峯）・清水

議題

- 1) 母体保護法関係
- 2) 医業経営関係
- 3) 公費負担事業関係
- 4) 老人保健法関係
- 5) 感染症対策関係

- 6) 性教育関係
- 7) プレグランディン腔坐剤施用報告について
- 8) 医事紛争関係
- 9) その他

(6) 近畿

平成16年1月18日 神戸市 出席者27名

本部出席者：清川・永井・鈴木

議題

- 1) 医療費未払い問題について
- 2) 医事紛争をめぐる諸問題

(7) 中国

平成15年9月13・14日 岡山市 出席者58名

本部出席者：新家・佐藤・大村(浩)

議題

- 1) 胎児心拍数図の具体的カルテ記載、助産師への指導について
- 2) 分娩の取り扱いにおけるオープンシステム化の動きについて
- 3) 分娩および子育て支援保険の新設について
- 4)- 1 若年者(妊婦を含む)の子宮がん検診の取り組みについて
 - 2 各県における30歳未満の子宮がん検診状況について
 - 3 各支部における29歳以下の女性に対する子宮がん検診(市町村の財源補助の有無)の実施状況について
- 5) 各県における卵巣がん検診の取り組み状況について
- 6) 中絶理由が不明になっているものの取り扱いについて
- 7) 各県のマンモグラフィ検診実施状況および現状について
- 8) 各県の勤務医部会の活動状況について
- 9) 各県の妊娠前・妊娠中の葉酸の摂取状況について
- 10) 新生児聴覚スクリーニング実施状況の説明と新たに開始された外来新生児聴覚スクリーニング検討事業について
- 11) 医療機関内における受動喫煙防止対策について
- 12) 不妊治療に対する公費の助成について
- 13) 日産婦医会ホームページの管理・更新(各県)について

(8) 四国

平成15年8月23・24日 高知市 出席者60名

本部出席者：新家・朝倉・五味淵

議題

- 1) 会務
- 2) 検診
- 3) 母体保護法関連
- 4) 自由診療料金(慣行料金)
- 5) 周産期医療と思春期問題

- 6) 病診連携
- 7) 女性医師問題
- 8) 国家補助事業関連
- 9) 医事紛争
- 10) その他及び要望

(9) 九州

平成15年10月4・5日 宮崎市 出席者51名

本部出席者：佐々木・永井・宮崎

議題

乳癌の施設検診について